

2022年3月期 第1四半期 決算概要

2021年8月6日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2022年3月期 1Q 決算概要

2022年3月期 第1四半期 決算ハイライト

全地域が増収となり、大幅な増益を確保

売上	連結	連結売上高は、前年同期比129.4%、21億円増の92億円。
	日本	前年同期比113.5%の34億円。 電子部品・半導体関連の好調維持もあり、自動車関連が復調気配。
	中国	前年同期比145.9%の48億円。 全業種で好調を維持し、特に電子部品・半導体の受注増が貢献。
	東南アジア	前年同期比114.6%の3億円。 マレーシア、シンガポール、フィリピンが特に堅調。
	欧米他	前年同期比127.5%の5億円。 医療関連の欧米向け輸出が好調。
利益		営業利益は、796百万円（前年同期は営業利益24百万円） 経常利益は、761百万円（前年同期は経常利益6百万円） 四半期純利益は、526百万円（前年同期は四半期純損失76百万円）
ネット資金		運転資金削減等により、期首から109百万円増加。

■ 2022年3月期 1Qの決算ハイライト

■ 前期はCOVID-19拡大の影響を受けており、現在は復調傾向にあることから全地域が増収となり、大幅な増益を確保

■ 特に中国では為替レートの影響だけでなく、現地通貨ベースでも大幅な増収を達成し、業績の回復に大きな貢献

■ 利益面は、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇もあったが、増収による効果が大きく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも大幅な増益

損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高		7,169		9,278	2,109	129.4%
営業利益	0.3%	24	8.6%	796	771	3,194.9%
経常利益	0.1%	6	8.2%	761	755	12,406.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-	▲ 76	5.7%	526	602	-

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2

■ 損益計算書サマリー

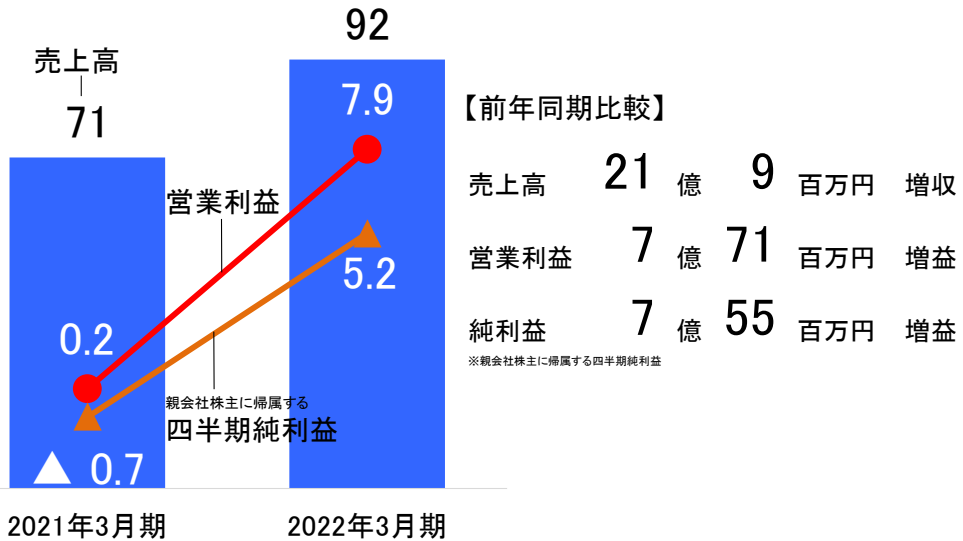
■ 売上高は92億78百万円で、前年同期比129.4%、21億9百万円の増収

■ 営業利益は7億96百万円、経常利益は7億61百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億26百万円

■ 前年同期の純損失から黒字に転換するなど、利益面では大幅な増益

売上高と利益(1Q比較)

(単位: 億円)



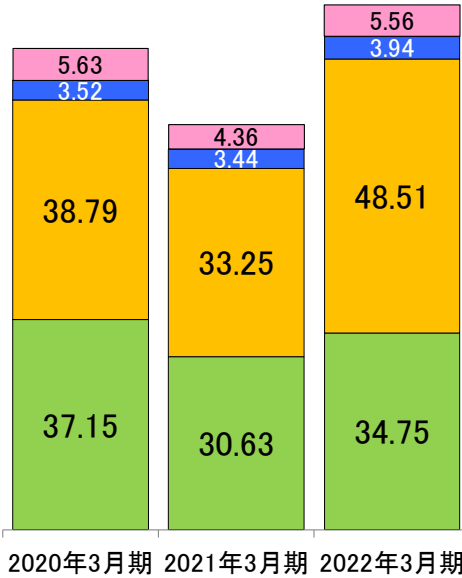
■ 2021年3月期と2022年3月期の売上・利益比較(1Q)

■ 前期1QはCOVID-19拡大の影響を大きく受けていたが、復調からの反動もあり、大幅な増収増益

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



全ての地域において増収となるも、日本はコロナ禍前の回復には至らず

欧米他 医療関連の欧米向け輸出が好調を維持

東南アジア 大幅増ではないが、堅調に推移

中国 電子部品・半導体関連が好調
前期だけではなく、前々期からも大幅な増収

日本 電子部品・半導体関連が好調
自動車関連が復調気配
前期からは増収だが、前々期の水準には未達

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

■地域別の売上高

■全地域において増収を達成するなか、中国が大きく牽引

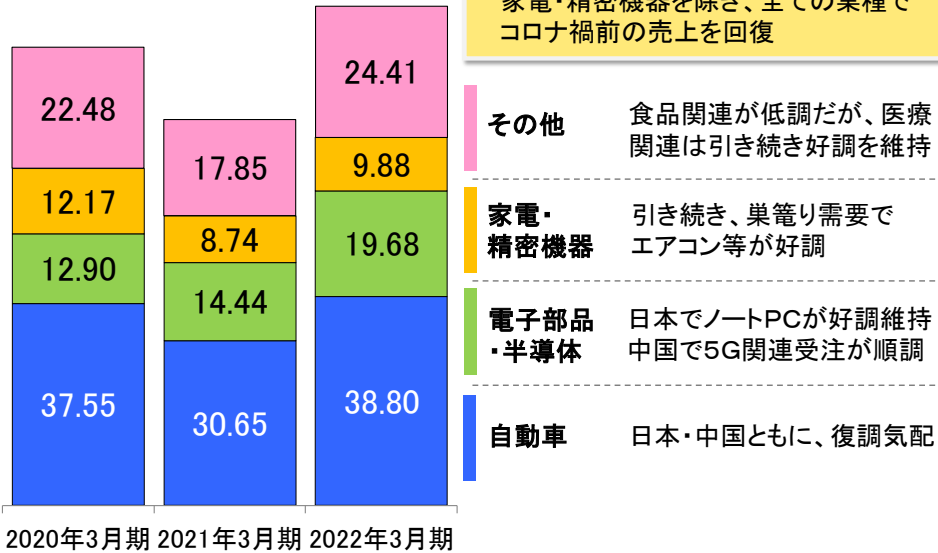
■コロナ禍の影響を受ける前である、2020年3月期と比較しても、中国の好調さが際立っている

■一方、日本は復調気配ではあるものの、コロナ禍前までは回復しきれていない状況

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

■業種別の売上高

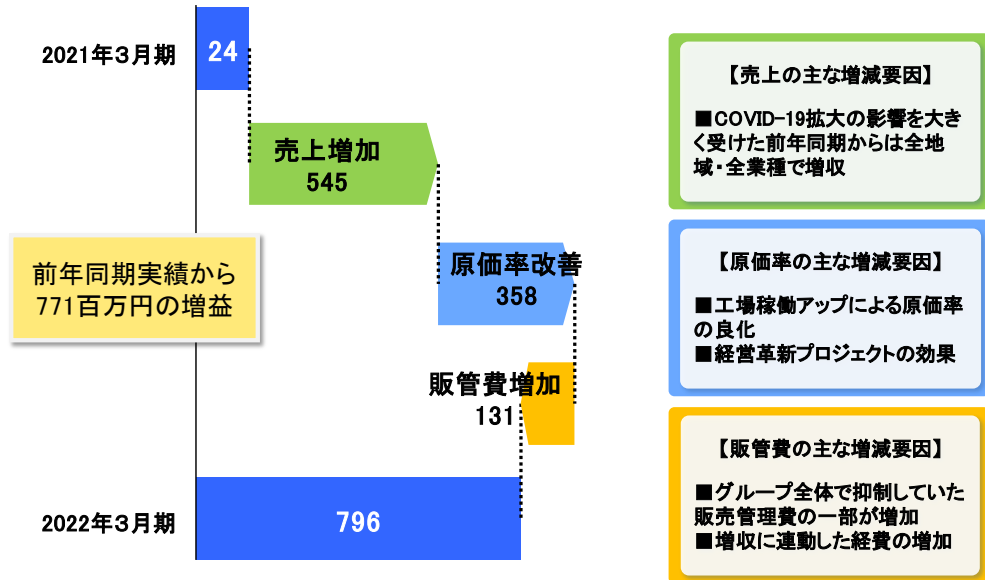
■日本と中国において自動車関連、電子部品・半導体関連は好調に推移し、前年同期実績よりも全業種において増収

■コロナ禍の影響を受ける前である、2020年3月期と比較し、自動車関連が復調気配を見せており、電子部品・半導体関連が特に好調

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

■ 営業利益の増減分析

■ 前年同期の営業利益実績24百万円に対して、

売上増による利益増加が5億45百万円

工場稼働アップによる原価率の良化が3億58百万円

一方で、グループ全体で抑制していた販売管理費の一部が増加したことや、増収に連動した経費の増加が1億31百万円

■ 結果、2022年3月期 1Q実績は、営業利益7億96百万円

前年同期に対して、7億71百万円の増益

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	24,702	25,189	486
総負債	12,266	11,459	▲807
うち有利子負債	4,997	4,195	▲801
純資産	12,436	13,729	1,293
ネット資金	▲905	▲796	109
自己資本比率	50.2%	54.4%	4.2pt

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	121	239	118
減価償却費(無形固定資産含む)	288	236	▲52

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

7

■貸借対照表サマリー

■総資産は、4億86百万円の増加

■総負債は、8億7百万円の減少

■純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して12億93百万円の増加

■上記の結果から自己資本比率は前期末から4.2ポイント上昇し、54.4%

■設備投資額は、前年同期から1億18百万円増加の2億39百万円
前期は抑制を徹底したこともあり、徐々に巡航速度に戻していく計画

2022年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期 (実績)		2022年3月期 第2四半期累計期間(連結)			
			前回予想 (2021/5/13公表)		修正予想	前年同期差 (前年同期比)
売上高	15,412		18,800	19,200	3,788 (124.6%)	400 (102.1%)
営業利益	2.0%	313	6.4% 1,200	8.1% 1,550	1,237 (495.0%)	350 (129.2%)
経常利益	2.4%	372	6.3% 1,180	7.8% 1,500	1,128 (402.4%)	320 (127.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	- ▲	544	4.1% 770	5.1% 980	1,524 (-)	210 (127.3%)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日公表の2022年3月期 2Q累計期間における連結業績予想を修正
- 修正理由は、1Q業績が予想を上回っている点や先々の受注も確保できている点
- 売上高4億円、営業利益3億50百万円、四半期純利益2億10百万円を上方修正

2022年3月期 通期の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 連結累計期間			
			前回予想 (2021/5/13公表)	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	32,462		36,500	37,400	4,938 (115.2%)	900 (102.5%)
営業利益	5.0%	1,613	6.0% 2,200	6.8% 2,550	937 (158.1%)	350 (115.9%)
経常利益	5.2%	1,676	5.9% 2,150	6.6% 2,470	794 (147.3%)	320 (114.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5%	477	4.0% 1,450	3.9% 1,450	973 (303.5%)	0 (100.0%)
自己資本利益率 (ROE)	4.0%		11.1%	11.1%	7.1pt	0.0pt

2022年3月期
配当予想

8円 = 中間 4円(予定) + 期末 4円(予定)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

9

■ 通期の業績予想修正

■ 今後も緩やかに金型用部品への需要が回復していくと仮定しているものの、直近の動向において断続的なCOVID-19拡大の波が発生していることに起因するリスクや、米中貿易摩擦の再燃に起因する地政学的なリスクを織り込んだ下半期に対する前提条件を据え置き、2Q累計期間の上方修正額をスライド

■ 連結業績に対する為替換算の影響を加味し、売上高は2Q累計期間の上方修正額から、さらに5億円の増収を見込む

■ また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、下半期において設備の老朽化等による更新投資に係る特別損失の計上等を見込んでいることから、当初の通期予想数値を据え置く

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2021/>

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,006名(グループ連結、2021年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

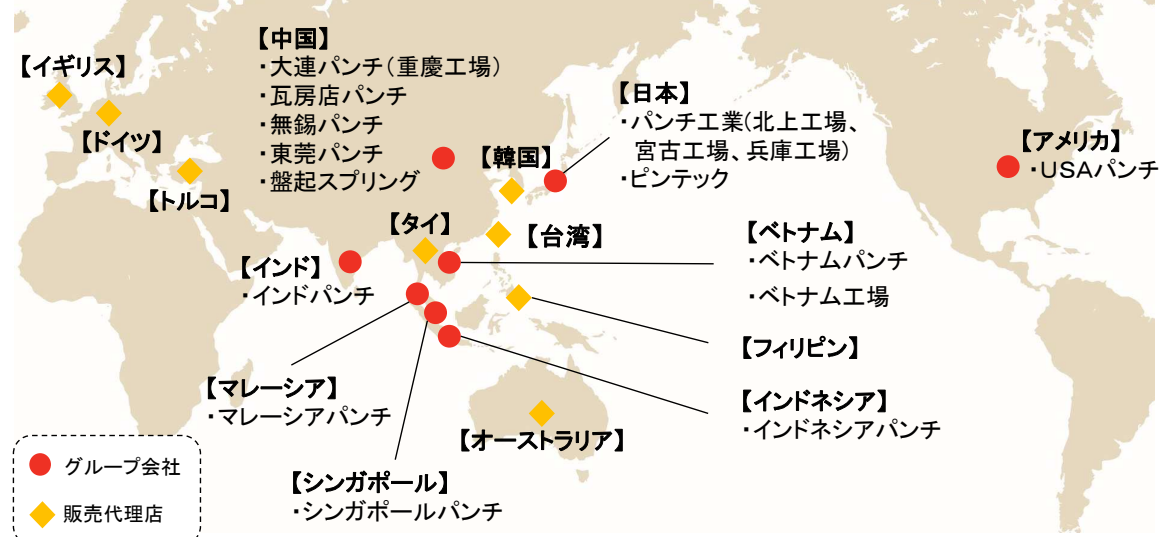
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

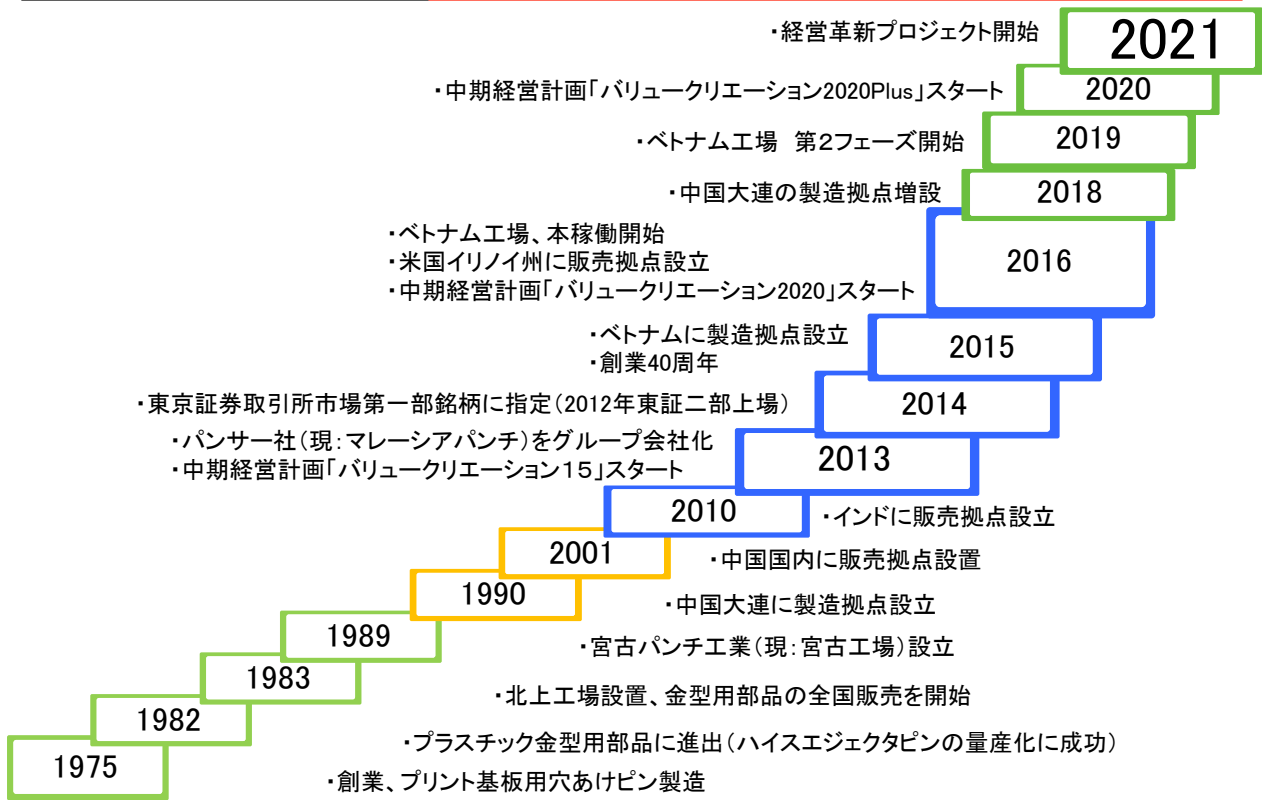
日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

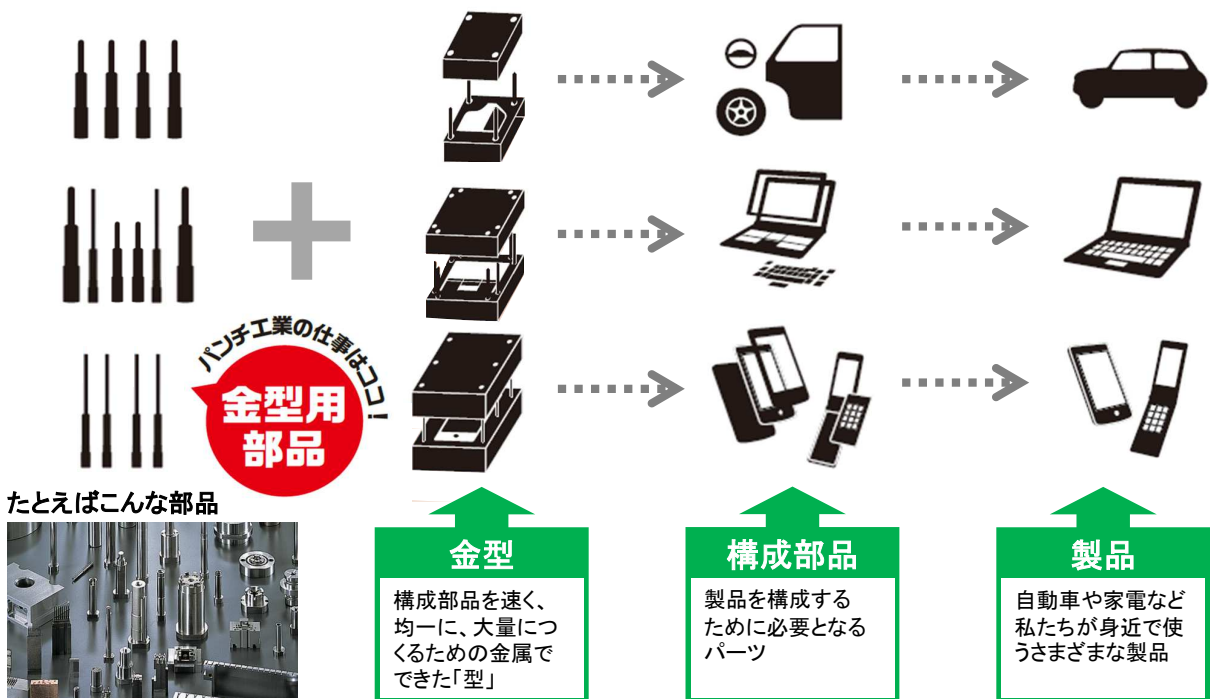


沿革

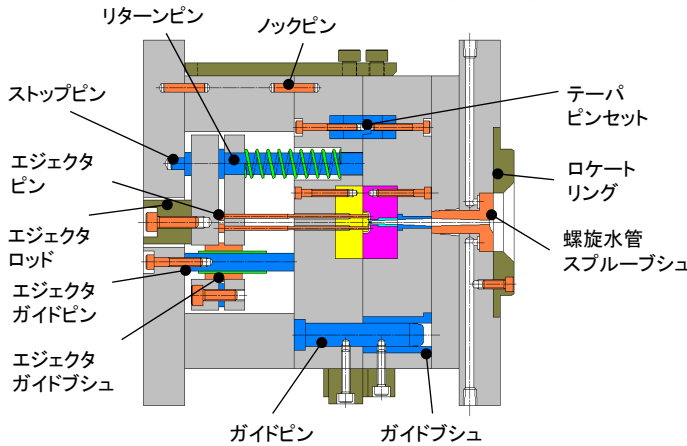
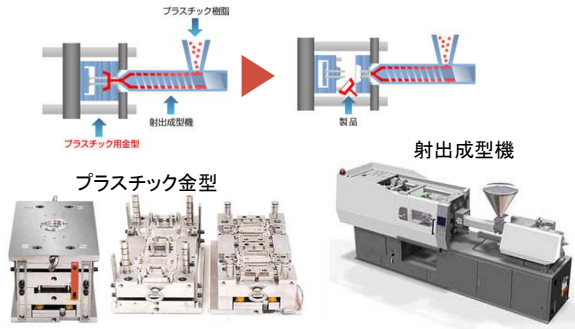


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



●プラスチック金型用部品について

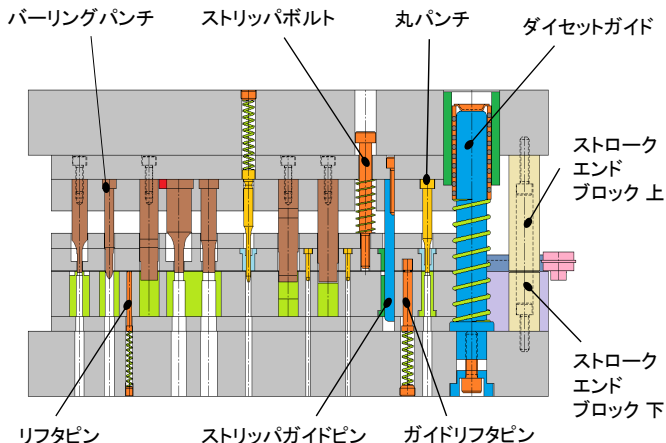
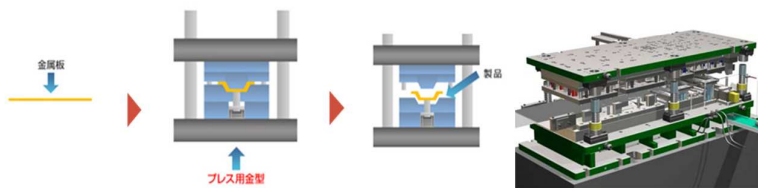
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

プレス金型と金型用部品



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供




カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

タイムリーで的確なソリューション



特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応

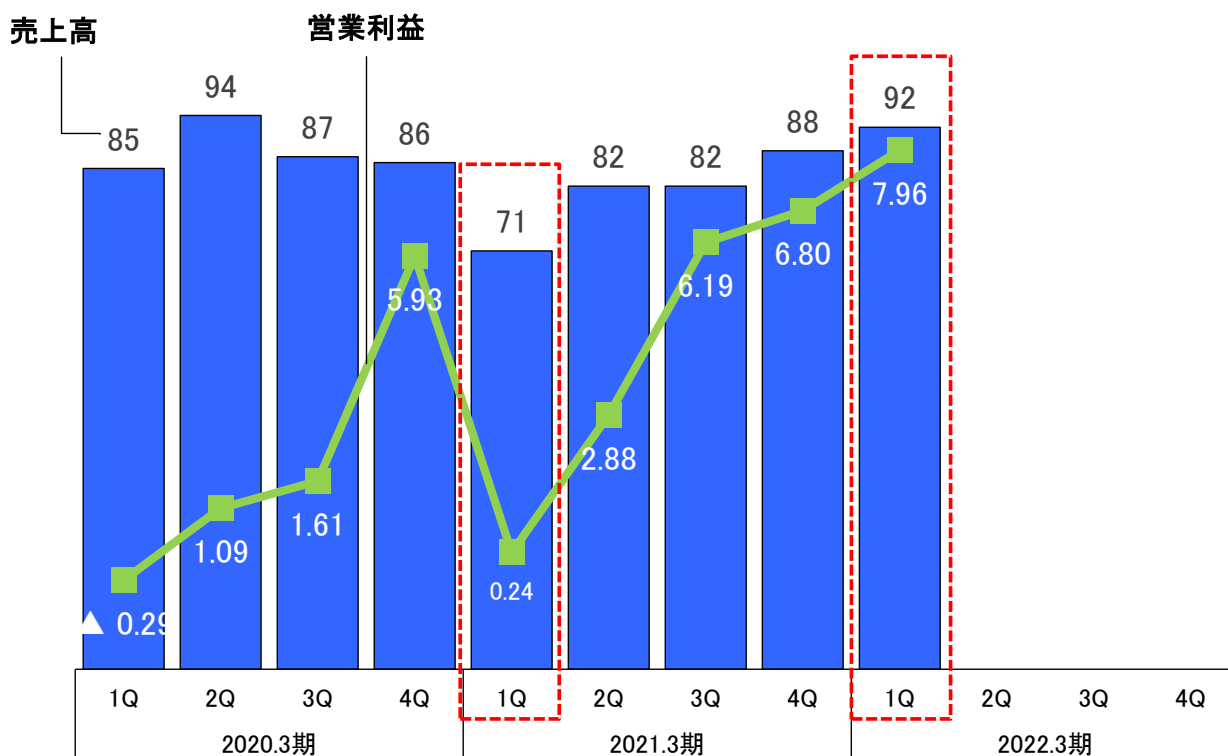
一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

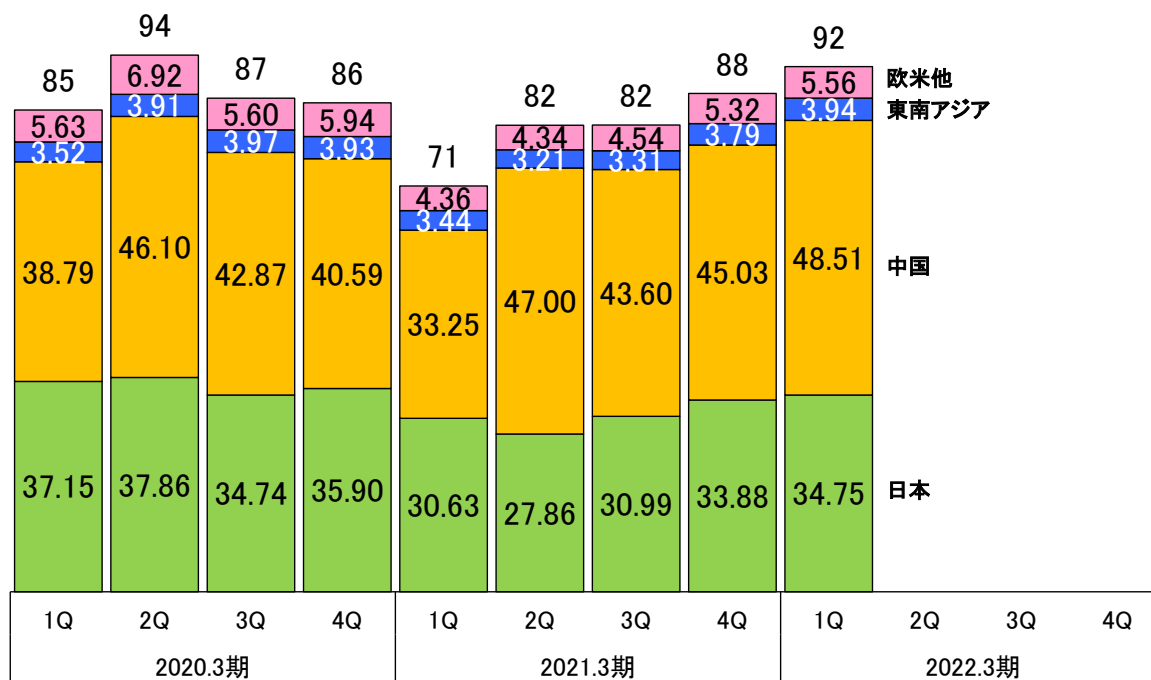
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



地域別売上高

(単位:億円)



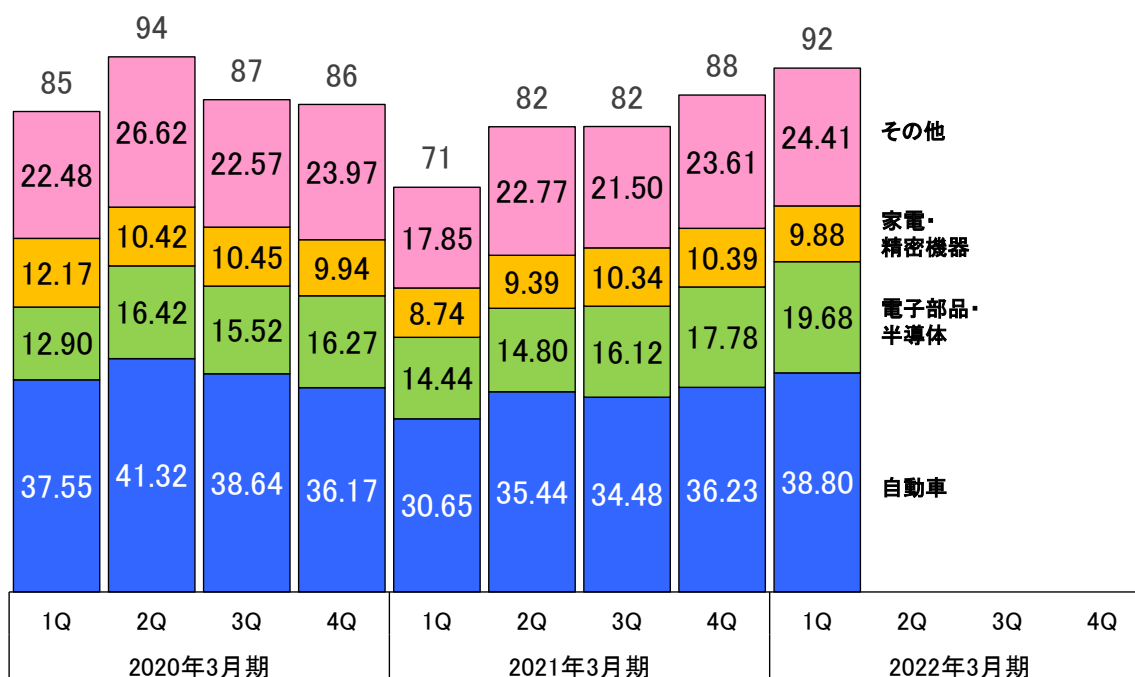
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

19

業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

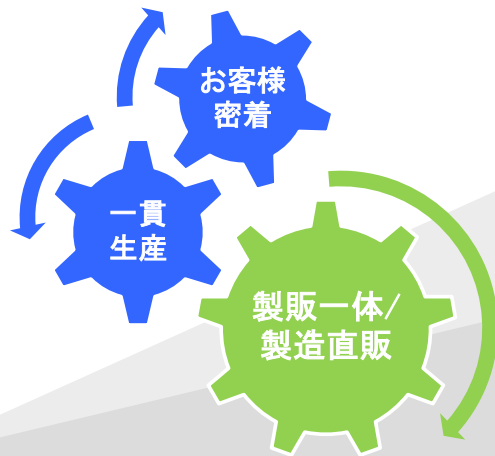
20

CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

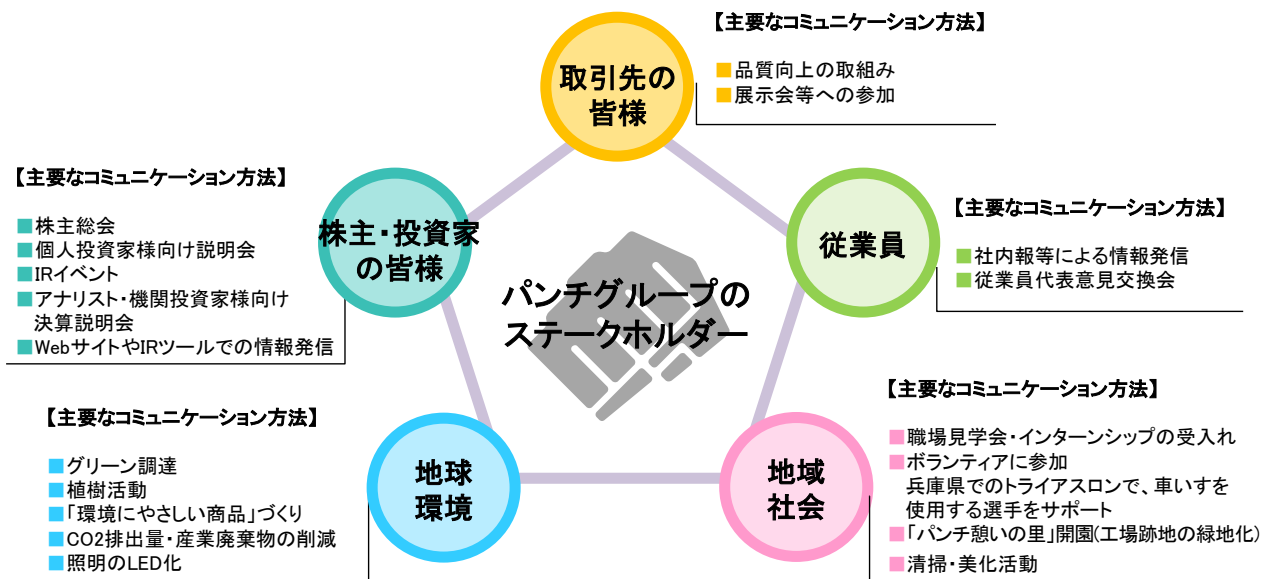
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2019年トライアスロンin加西)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理部 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。